

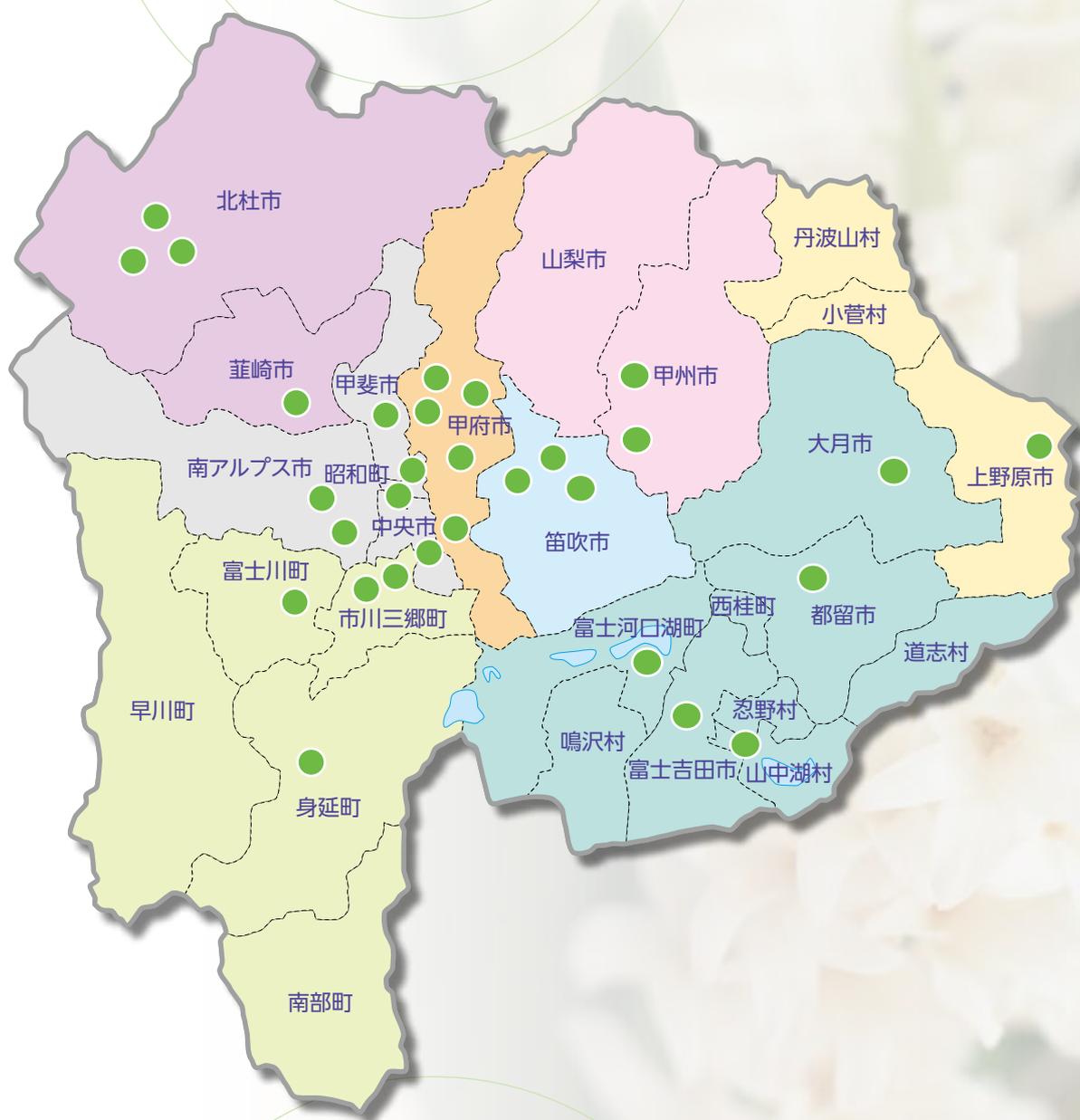
YAMANASHI

2017.1

Vol.40

山梨県老人保健施設協議会広報誌

ろれけん



介護老人保健施設

白樺荘

施設の概要

所在地 富士吉田市新屋 1552-3
事業・定員 入所 100名
短期療養 空床利用
通所リハ 15名
居宅介護支援事業

当施設は老人保健施設として、平成8年4月に開設しました。

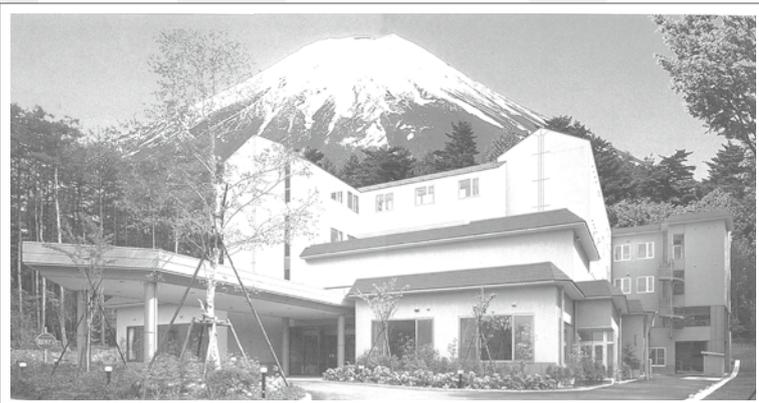
その後、平成12年介護保険法が施行され、介護保険法の制度下、介護老人保健施設白樺荘として、現在に至っています。

白樺荘は、入所者様や利用者様が楽しく安心して生活していただくため「いつも笑顔で、真心こめて」をモットーにチームケアに努めています。

安心、安全な施設生活、健康管理、リハビリテーション等、質の高いサービスを提供することにより、住み慣れた在宅への復帰に繋げていくことを目標に、入所者様、利用者様とともに、日々取り組んでいます。

ここにはいつも富士がある

世界文化遺産「富士山」の麓に立地



紅葉を楽しみながら散歩

敷地内に整備された散歩道を
リハビリを兼ねて紅葉狩り



運動会

紅組、白組に分れ元気一杯、
頑張りました。



プロ歌手が訪問

演歌、歌謡曲、シャンソン等、
幅広いジャンルを熱唱…
全員で唱歌を大きな声で歌いました。



Nursing Assistance Care

湯村

入所定員 95名（うち、認知症専門棟30名）
通所定員 40名/日（月～土）
訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所併設

県都甲府の奥座敷とも称される湯村温泉郷の一角に温泉施設を活用した『老健』として、平成9年4月に開設し、本年4月に20周年を迎えます。

年々設備、スタッフ共に進化を続け、昨年は全館フローリングを一新し、より明るい施設に変貌しました。スタッフについても、医局、看護体制等変更があったことで医療面の充実にも繋がりました。ケアスタッフも認知症ケア専門士や認知症認定看護師の配置をはじめ、歯科衛生士、理学・作業療法士、介護福祉士と多くの専門職が、利用者の思いに沿ったケアを展開しております。

これらの実績を踏まえ、山梨県立大学をはじめ、多くの大学、専門学校、教育養成機関より、実習生受入のご要請をいただき、対応しております。

職員全員が指導者であり、実習生全員が将来の職員であるとの意識を持ち、対応しております。また、若い世代の方たちへ介護のお仕事に対する魅力を発信してまいります。

【実習生受入状況】

平成23年度 延べ353名
平成24年度 延べ541名
平成25年度 延べ578名
平成26年度 延べ550名
平成27年度 延べ593名



玄関ホール



通所ホール



リハ室



居室



第19回

山梨県介護老人保健施設大会

11月10日（木）ベルクラシック甲府に於いて、第19回山梨県老人保健施設大会が開催されました。冒頭福田六花会長より、日頃より高齢者に対し、愛情を持って働いてくれている職員に対し、感謝の言葉が述べられました。また、本大会は職員のための情報交換の場であり、共有していくことが大切であること、閉塞している介護の現場を山梨から、私たちが変えていきましょうとの挨拶がありました。

基調講演



介護老人保健施設
はまなす 施設長

山梨県老人保健施設
協議会 会長

福田 六花 氏

アクティブな老人介護

日本の高齢者人口（65才以上）は3461万人（総人口の27.3%）と世界でも類をみない超高齢化社会である。医療保険、介護保険の財源にも限りがあり、これからの日本の超高齢化社会をどうやって支えていけば良いのだろうか？

住み慣れた我が家で家族と一緒に出来るだけ長く生活することが出来れば、お年寄りも家族も幸せである。そのためには「老健」を上手に利用してもらうことが大切だ。

老健の仕事は決して楽ではないが、縁あって関わらせていただくのであれば、お年寄りの残り少ない時間に最高のプレゼントを送ろう。少しでも夢や希望を叶えてあげよう。これが老健職員に出来ることである。

安心して、穏やかに、健やかに暮らしていただくための取り組みとして、

- 身体拘束の廃止 不穏や徘徊があれば拘束する前にその原因をさぐる。
- クスリを減らす 向精神薬をはじめとして心身の健康を損ねるクスリが多いこと知る。
- 頻回なトイレ誘導 便意、尿意がなくてもトイレにお連れする。
- 夜間入浴 日本人の生活リズム（メシ→フロ→ネル）を大切にする。
- 四季折々の行事の充実 心の底から笑っていただけるよう企画する。
なるべくなら家族を巻き込んで施設の外にお連れする。

「お年寄りの小さなヒトコト、夢、希望、本音を、絶対に聞きもらさない……」



優秀演題紹介

例年同様、各施設に従事する多職種の職員による発表は、施設ごとに創意工夫を凝らし、サービスの質の向上を目指した活動、取り組みなどの事例を紹介しました。

26施設28演題の発表の中で、次に紹介する5演題が、参加施設の投票により、優秀演題に選ばれました。



私、こんなに元気になりました 廃用症候群から歩行自立まで

フルリールむかわ
介護福祉士 **望月 和奈** さん

今回の発表は、廃用症候群にて褥瘡併発・意欲低下の状態、病院では、「一生車椅子での生活になり歩けることはない」と説明があった利用者様に対し、以前のような活発な姿を取り戻せるよう、リハビリ職・栄養職・歯科衛生士・看護師・介護職の多職種で取り組んだ。その人に合った介護を色々な角度・多職種で取組んだ事が、利用者様の心身の向上に繋がったのだと思います。

ご家族よりお礼の言葉をいただけて本当に日々の積み重ねが実ったと嬉しく思いました。

これからも日々その人その人に合った介護を多職種で取組んでいきたいと思えます。



思いに寄り添ったケアの実践 ユマニチュードの手法を用いて

NAC 湯村
介護職員 **山中 淳樹** さん

より良い施設生活を送っていただくように当施設職員は日々試行錯誤しながら利用者様と向きあっています。今回、知覚・感情・言語による包括的コミュニケーションに基づいたケア技法を実践したことで、夜間不眠の解消、不安の訴えの軽減、職員の意識への効果を得ることができました。今後も「あなたは大切な存在である」ということを伝え、“人間らしさ”を尊重し続けるユマニチュードの技法を継続していこうと思っています。



記憶と心をつなぐ、明日の活力につなげる『回想法』 『グループ回想法』から獲得した、多くの効果と可能性

峡北シルバーケアホーム
介護福祉士 **小野寺 希和** さん

毎週実施している『グループ回想法』では、昔の道具を用いることで懐かしい話に花が咲き、普段の生活でも見当識が保たれたり、易怒性の弱化や不眠の改善などの効果が得られるだけでなく、互いを思い合う心を生み、料理や作業を通して蘇る記憶から引き出された意欲や能力、自信を利用者様が取り戻すきっかけ作りとなっています。文化伝承や精神安定、認知症予防。多くの可能性を秘めた回想法を多くの施設で行っていただけたら幸いです。



10時のお茶は元気の源 ～今日は何を召し上がりますか?～

はまなす
介護員 **奥脇 雪江** さん

10時のお茶は、ただ水分補給の為の時間ではなく、利用者様に楽しみにしていただけるようにと意識した結果、バリエーション豊かな飲み物の種類になったり、コミュニケーションの場に役立っている。また、体調不良となる利用者様の減少や、インフルエンザ流行時期での発症しなかった年が多々ある事など、良い結果へとつながっている。

今後も楽しく継続していきたい。



個別排泄ケア 職員の排泄ケアへ意識の変化

しおかわ福寿の里
介護福祉士 **入野 恭平** さん

排泄介助は、日々多くの時間を掛けて行う業務の一つです。そこに、如何に個別性を見出すかによって満足度は変化するのではないかと考え、当施設では平成24年度から個別排泄ケアを重視した活動を推進しました。それに伴い職員の意識も、さらに利用者様に寄り添う介護へと変化してきたと感じています。

今回の受賞を糧に、さらなる個別排泄ケアの充実と質の向上を目指し、「その人らしさ」を大切にする介護に皆で尽力したいと思います。



不審者侵入時対応訓練



ナーシングプラザ三珠

2016.8.24



不審者対応5か条

- ①不審者との対応は複数名ですること。
- ②不審者との距離は十分にとること。
- ③いたずらに刺激しないこと。
- ④警察への通報をすばやく行うこと。
- ⑤使えるものは何でも使って、警察が到着するまでの時間を稼ぐこと。

「相模原事件」を受けて

日本各地では、地震・津波・暴風・豪雨・地滑り等、様々な自然災害が発生しています。「災難は忘れたころにやってくる」と語った物理学者・寺田寅彦の格言はすでに死語になってしまった感がある昨今です。

特に、本年七月二十六日未明に発生した相模原市障害者施設殺傷事件は、自然災害や火災に加え、人的災害に対しても、最早「我々に限っては安心」などとは言っていられない社会環境となっていることを痛感させられる事件でした。

しかしながら、自然災害や火災に対する対処法等はある程度習熟していたところではありましたが、人的災害に際して果たして効果的に対処ができるかといった懸念が、相模原の事件を機会に課題として浮かび上がってきました。

幸い、鵜沢警察署に相談したところ、表記訓練についてご指導・ご協力いただける旨のご回答をいただき、去る八月二十四日に不審者侵入時対応訓練を行うに至りました。

訓練全般を通じ、身近にあるものを利用した防御方法を学びました。その中で日常生活の中に潜む様々な危険を予測し、回避し安全な行動を取るようになることの難しさを感じるとともに、自他の生命や安全とその基盤となる人権・人格を尊重する態度を育てることの大切さを知るよい機会となりました。

最後になりましたがこのような機会を与えていただいた鵜沢警察署の皆様へ深く感謝申し上げます。

施設対抗

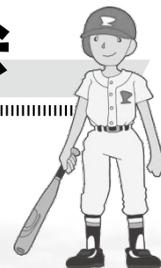
スポーツ 大会



山梨県老健協では、各施設の交流や、職員の体力向上を目的として、スポーツ大会を年2回開催しています。施設対抗ですが、近隣施設合同のチームでの参加もあり、試合中には、他のチームを応援したり、勝ち負け関係なくお互いの健闘をたたえ合う姿も見られました。

参加された皆さんの笑顔が輝いていた一日でした。

第9回職員交流ソフトボール大会



平成28年6月26日(日)、梅雨晴れの日、北杜市高根総合グラウンドにおいて、熱戦が繰り広げられました。

- 優勝 「恵信塩山ケアセンター」
- 準優勝 「山中湖あんずの森・ももくら」
- 3位 「いちかわ・ふじかわ」
- 敢闘賞 「フルリールむかわ」



第21回職員交流ソフトバレーボール大会

木々の葉が色づき、山々の紅葉が見頃を迎えた平成28年10月30日(日)、北杜市高根体育館において行われました。

- 優勝 「峡南ケアホームいいとみ」
- 準優勝 「いちかわ・ふじかわ」
- 3位 「はまなす」
- 敢闘賞 「峡北シルバーケアホーム」
- 敢闘賞 (敗者復活) 「フルリールむかわ」



山梨県介護老人保健施設一覽



電話



FAX



E-mail

<p>1 峡北シルバーケアホーム</p> <p>〒408-0023 北杜市長坂町渋沢907 ☎0551-32-6211 ☎0551-32-6215 ✉kyohoku@crux.ocn.ne.jp</p>	<p>11 ケアセンターいちかわ</p> <p>〒409-3601 西八代都市川三郷町市川大門416 ☎055-272-5121 ☎055-272-5131 ✉ci-jimu@kyonan-mc.jp</p>	<p>21 ふじ苑</p> <p>〒406-0004 笛吹市春日居町小松855-6 ☎0553-26-5001 ☎0553-26-3574 ✉fujien@hyper.ocn.ne.jp</p>
<p>2 しおかわ福寿の里</p> <p>〒408-0114 北杜市須玉町藤田787 ☎0551-42-4604 ☎0551-42-4101 ✉salt2910@poppy.ocn.ne.jp</p>	<p>12 ナーシングプラザ三珠</p> <p>〒409-3612 西八代都市川三郷町上野2968 ☎055-272-8611 ☎055-272-8653 ✉momo6154@herb.ocn.ne.jp</p>	<p>22 いちのみやケアセンター</p> <p>〒405-0076 笛吹市一宮町竹原田1255-1 ☎0553-47-4811 ☎0553-47-4815 ✉icare777@oregano.ocn.ne.jp</p>
<p>3 フルリールむかわ</p> <p>〒408-0307 北杜市武川町柳澤740-1 ☎0551-26-0111 ☎0551-26-0112 ✉info@fluriru.com</p>	<p>13 サンビューふじかわ</p> <p>〒400-0601 南巨摩郡富士川町鯉沢340-1 ☎0556-22-7301 ☎0556-22-1665 ✉syomu5@kajikazawa.com</p>	<p>23 勝沼ナーシングセンター</p> <p>〒409-1302 甲州市勝沼町菱山中平4300 ☎0553-44-5311 ☎0553-44-5220 ✉knc@bird.ocn.ne.jp</p>
<p>4 あさひホーム</p> <p>〒407-0045 韮崎市旭町上条中割473 ☎0551-23-3500 ☎0551-23-3505 ✉asahikai@poem.ocn.ne.jp</p>	<p>14 峡南ケアホームいとみ</p> <p>〒409-3423 南巨摩郡身延町飯富1655 ☎0556-42-4314 ☎0556-42-4331 ✉iitomi.ro-ken@gaea.ocn.ne.jp</p>	<p>24 恵信塩山ケアセンター</p> <p>〒404-0042 甲州市塩山上於管1195 ☎0553-33-3205 ☎0553-33-3207 ✉keishine@d9.dion.ne.jp</p>
<p>5 山梨ライフケア・ホーム</p> <p>〒400-0111 甲斐市竜王新町2128 ☎055-279-4711 ☎055-279-4713 ✉lifecare@bd.wakwak.com</p>	<p>15 甲府かわせみ苑</p> <p>〒400-0802 甲府市横根町554 ☎055-222-2900 ☎055-222-6600 ✉seishou@crux.ocn.ne.jp</p>	<p>25 はまなす</p> <p>〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津6901 ☎0555-83-3285 ☎0555-83-3286 ✉hamanasu@toranomom.or.jp</p>
<p>6 峡西老人保健センター</p> <p>〒400-0405 南アルプス市下宮地421 ☎055-282-7000 ☎055-282-7003 ✉careport@feel.ocn.ne.jp</p>	<p>16 甲府南ライフケアセンター</p> <p>〒400-0851 甲府市住吉5-24-14 ☎055-241-3333 ☎055-241-7564 ✉kofuminamilife@mx4.nns.ne.jp</p>	<p>26 白樺荘</p> <p>〒403-0006 富士吉田市新屋1552-3 ☎0555-24-4211 ☎0555-24-4212 ✉sirakaba@fgo.jp</p>
<p>7 ケアホーム花菱</p> <p>〒400-0402 南アルプス市田島1105 ☎055-280-8700 ☎055-280-8701 ✉hanabishi@isis.ocn.ne.jp</p>	<p>17 N A C 湯村</p> <p>〒400-0073 甲府市湯村3-15-13 ☎055-253-2200 ☎055-253-2203 ✉rouken@nac-yumura.com</p>	<p>27 山中湖あんずの森</p> <p>〒401-0501 南都留郡山中湖村山中1069-3 ☎0555-63-2333 ☎0555-62-9999 ✉yamanakakoanzunomori@juno.ocn.ne.jp</p>
<p>8 ひばり苑</p> <p>〒409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰1277 ☎055-275-9511 ☎055-275-9512 ✉hibari-office@takekawa-kai.or.jp</p>	<p>18 甲府相川ケアセンター</p> <p>〒400-0003 甲府市塚原町359 ☎055-252-1600 ☎055-252-1602 ✉aikawa@kashinokai.or.jp</p>	<p>28 つる</p> <p>〒402-0056 都留市つる5-1-55 ☎0554-45-1813 ☎0554-45-1006 ✉rouken@hp.city.tsuru.yamanashi.jp</p>
<p>9 ノイエス</p> <p>〒409-3863 中巨摩郡昭和町河東中島443 ☎055-275-1165 ☎055-275-1161 ✉neues@sage.ocn.ne.jp</p>	<p>19 大津ケアセンター</p> <p>〒400-0055 甲府市大津町1509-1 ☎055-244-0202 ☎055-244-0033 ✉ootsu@ray.ocn.ne.jp</p>	<p>29 ももくら</p> <p>〒409-0622 大月市七保町下和田2132-1 ☎0554-20-1111 ☎0554-20-1119 ✉momokura@biscuit.ocn.ne.jp</p>
<p>10 玉穂ケアセンター</p> <p>〒409-3812 中央市乙黒247-1 ☎055-273-7331 ☎055-273-7360 ✉syojukai@yin.or.jp</p>	<p>20 甲州ケア・ホーム</p> <p>〒406-0032 笛吹市石和町四日市場2031 ☎055-263-0242 ☎055-263-2250 ✉carehome@krg.ne.jp</p>	<p>30 みのりの里 旭ヶ丘</p> <p>〒409-0112 上野原市上野原7806 ☎0554-63-5800 ☎0554-62-6006 ✉jimu@keifuu.or.jp</p>

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会広報委員会
介護老人保健施設ケアセンターいちかわ内

〒409-3601
山梨県西八代都市川三郷町市川大門416
TEL 055-272-5121(代) FAX 055-272-5131
E-mail : ci-jimu@kyonan-mc.jp